

D—5 乳幼児の安全教育（第1報）  
—乳児の事故に対する母親の認識—

中村学園大家政 山下 歌子

1. 現代は科学技術の振興が目覚しく、物質文明が急速に発展してきたため、多種多様の新製品が生産されている。また経済成長は高度発展し、国民所得は急上昇してきた。他方個人主義思想が普及し、国民の生活に対する考え方が一変し、文化的かつ快適な生活を好む傾向が強くなってきた。現代社会は進展している反面社会環境は整備が遅れ勝ちであり、人々のなかには不適応に陥るものが現われてきている。また人口は都市へと集中し、都市では人と物で膨張し様々な危険が充満している。加えて現代はスピード時代でそのため不慮の事故死が急増してきた。ところが乳児はすべてを成人に依存しているため、その全責任が養育者にあるといえる。乳児を事故から守るために対策を得ることを目的に調査を行なった。

2. 福岡市A住宅地区、福岡市B商店街、福岡県C農村地区の幼稚園、保育所園児の母親600名を対象にアンケート紙法を用いた。調査時期は1968年7月1～14日、回収率は73%であった。調査結果は $\chi^2$ 検定で有意差の有無を検定した。

3. 授乳法について77%のものが正しく理解していた。乳児のマットレスの使用が窒息の原因になることを63%のものしか知らなかった。乳児をこたつに寝かせたまま目のとどかない所で仕事をしたことがあるものは25%であった。